

個人識別学 I

Method of Identification I

単位数：5単位

○竹下 治男 教授：法医学
藤原 純子 学内講師：法医学
木村かおり 学内講師：法医学

1. 科目の教育方針

親子鑑別や個人識別の検査に利用される遺伝マーカーの数は、DNA 多型を中心に年々多くなっている。個人識別学の講義・演習では、日常検査で使用しやすく、精度が高く、安定な遺伝マーカーの現状、開発および応用について学ぶ。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 個人識別をめぐる問題を主として法医学の立場から理解し、個人識別をめぐる社会的問題を理解し行動する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 個人識別の一般的知識を説明でき、個人識別に関わる社会的問題に積極的に関わる態度を示し、社会的に行動することができる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主としてオンラインで行うこととし、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更（オンライン⇒対面等）がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

講義ごとに次回の参考文献を示す。

現代の法医学 改訂第3版増補. 金原出版. 1998年

臨床法医学テキスト 第2版. 中外医学社. 2012年

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	物体検査	竹下 治男
2	(演習) 物体検査における実務例	竹下 治男
3	古典的 (生化学的) 血液型	竹下 治男
4	(演習) 古典的 (生化学的) 血液型における実務例	竹下 治男
5	各種遺伝マーカー 1	木村かおり
6	(演習) 各種遺伝マーカー 1 における実務例	木村かおり
7	各種遺伝マーカー 2	木村かおり
8	(演習) 各種遺伝マーカー 2 における実務例	木村かおり
9	DNA 型 1	藤原 純子
10	(演習) DNA 型 1 における実務例	藤原 純子
11	DNA 型 2	藤原 純子
12	(演習) DNA 型 2 における実務例	藤原 純子
13	親子鑑定	藤原 純子
14	(演習) 親子鑑定における実務例	藤原 純子
15	(演習) 総合討論 コースのまとめ	藤原 純子